

平成 24 年度
編入学学生募集要項

横浜国立大学工学部・理工学部

平成 23 年 6 月

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	5
2. 編入学の時期及び修学条件	6
3. 出願と併願について	6
4. 工学部高等専門学校編入学【3年次編入学】	6
5. 理工学部高等専門学校編入学【2年次編入学】	8
6. 理工学部学士編入学【2年次編入学】	11
7. 合格者発表	12
8. 入学検定料	12
9. 出願にあたっての注意事項	13
10. 受験にあたっての注意事項	13
11. 入学手続	13
12. 既修得単位認定	14
13. 障害等のある入学志願者の事前相談について	14
14. 個人情報の取り扱いについて	15
キャンパス案内図	16
交通案内図	17

添付書類

この要項には、下記の本学所定の書類が添付されています。

1. 志願票
2. 受験票・写真票
3. 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
4. 入学検定料払込取扱票（検定料 30,000 円）
5. 返信用封筒（速達用長形 3 号）
6. 住所・氏名記入用紙（シール）
7. 出願用封筒（書留速達用角形 2 号）

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます

真の実力を得たい！

社会において中核的人材になる真の実力を得たい人

洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

世界の舞台で活躍したい！

多くの留学生と共に国際性溢れる環境の中で、コミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院においてさらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び友と語りつつ、柔軟な発想と課題探求・解決能力をしっかりと身につけ、社会の中核となって共生社会に貢献することで自己実現を図ろうとする人を求めます。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神 - 実践性・先進性・開放性・国際性 - を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸学科に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

本学の詳細な教育目標・方針については、本学WEBサイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

工学部の求める学生像

豊かでバランスの取れた人類社会の構築を目指し、具体的に役に立つもの、考え方、あるいは情報を生み出すことに使命を感じる人を求めます。そのため、柔軟な思考と強固な意志をもって私達アカデミックスタッフとともに学び、ひたむきに研鑽することに喜びを感じることができる人を求めます。学部での基礎学力の修得を基に、大学院でのより専門的な分野で、自己を開花させようとする人を求めます。

1. 人まねでないもの作りや情報発信を通して、自ら成長・発展しようとする人
2. 何事にも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれずチャレンジ精神にあふれている人
3. 新しい時代に対応できる工学的センスと国際的な視野を磨こうとする人
4. 胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で具体的に形にしようとする人
5. 我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

・工学部 学科の求める学生像

【生産工学科】

機械工学や材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、機械工学・材料工学の基盤となる数学・物理の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持っている人を求めます。

1. 機械工学・材料工学や、ものを創り出すことについて強い興味を持っている人
2. 生産工学科における学習で必要となる（主に数学・物理の）基礎的能力を持っている人
3. 旺盛な向学心を持ち、創造性を伸ばそうとする人
4. 豊かな教養と国際的な視野を育てる意欲を持っている人

【物質工学科】

もの作り・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。また、向学心に燃え、発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

- ◆ 化学コースでは、化学における「ものづくり」「なぜ解き」「もっと知りたい」といった「未知に挑戦する心」を育みつつ、物質や材料を原子・分子のレベルで研究し、独創的発想のもとに先端的で機能性の高い物質の開発と有効利用する技術の開発に取り組む人を求めます。
- ◆ 物質のシステムとデザインコースでは、環境、エネルギー、安全、システム・もの作りの基礎知識を培いつつ、実践的な技術と思考力を身につけ、社会に役立つ研究・開発の企画力や問題解決能力の習得に取り組む人を求めます。

【建設学科】

21世紀のダ・ヴィンチ 創造性・自発性・探究心・行動力

まだ、この世界には存在していないが必要なもの、夢のような思考を現実のものとする優れた創造性とそれを実行する行動力にあふれた人を求めます。

- ◆ 都市基盤コースでは、よりよい国土の創造と環境との共生を目指す人を求めます。

【電子情報工学科】

電子情報工学科では、プロの研究者、技術者として社会で役立つ実践力を養う教育を行います。ただし真の実力を身につけるには、基礎トレーニングが不可欠です。そのため入学後のカリキュラムは相当な努力を要求しますが、着実な歩みでこれを乗り越える意志がある人を求めます。さらに以下の4項目が学科の求める学生像です。

1. 数学、理科について強い関心と高い能力を持つ人
2. 高度情報化社会を支える新しい先端科学技術を創り出すことを目指す人
3. 専門能力だけでなく、表現、議論、企画、経営などの多様な能力の獲得を目指す人
4. 問題の答えを他から求めようとせず、未知の問題を自ら発見し、解決しようとする人

．理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

- 1．自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
- 2．何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
- 3．新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
- 4．胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
- 5．我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

．理工学部 学科及び教育プログラムの入学者受入方針

機械工学・材料系学科の入学者受入方針

機械工学または材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。

<機械工学教育プログラム>

- ・ハイテクノロジー時代を代表する自動車、流体機械、ロボットなどの各種機械に強い関心を持つ人
- ・機械工学の研究、機械や機械システムの開発・設計・生産等の分野で活躍したいと希望する人

<材料工学教育プログラム>

- ・物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味のある人
- ・材料工学に強い関心を持ち、新材料や新規機器の開発分野で活躍したいと希望する人

化学・生命系学科の入学者受入方針

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

<化学教育プログラム>

- ・化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

<化学応用教育プログラム>

- ・化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

<バイオ教育プログラム>

- ・生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を目指す人を求めます。

建築都市・環境系学科の入学受入方針

建築都市・環境系学科は、建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

<建築教育プログラム>

- ・建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人
- ・自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・都市の歴史的変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを实践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

<都市基盤教育プログラム>

- ・自然環境との調和や共生など地球的観点にたつてより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

数物・電子情報系学科の入学受入方針

数学、物理の基本原則を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。

<数理科学教育プログラム>

- ・現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- ・数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

<電子情報システム教育プログラム>

- ・電気・電子・通信・情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- ・高度情報化社会を支える新しい先端的技術を創り出すことを目指す人

平成 24 年度横浜国立大学工学部・理工学部

編入学学生募集要項

平成 24 年度編入学試験は、平成 23 年 4 月からの理工学部設置に伴い、工学部（3 年次編入）と理工学部（2 年次編入）で編入学学生の募集を行います。

選抜は、工学部では「高等専門学校編入学」を、理工学部では「高等専門学校編入学」と「学士編入学」を行います。各選抜の詳細については、以下 1 及び 4～6 を参照してください。

なお、平成 23 年度入試まで生産工学科で実施していました「一般編入学」の選抜は、実施いたしません。

1. 募集人員

3 年次編入学【工学部】

学科名（コース名）	募集人員	
	高等専門学校 編入学	学 士 編入学
生産工学科	若干名	
物質工学科（化学コース及び物質のシステムとデザインコース）	若干名	
建設学科（都市基盤コース）	若干名	
電子情報工学科（電子情報システムコース）	若干名	
電子情報工学科（情報工学コース）	若干名	

【備考】物質工学科バイオコース、建設学科建築学コース、海洋空間のシステムデザインコース、及び知能物理工学科では、編入学の募集を行いません。

2 年次編入学【理工学部】

学科名（教育プログラム名）	募集人員	
	高等専門学校 編入学	学 士 編入学
機械工学・材料系学科（機械工学教育プログラム）	若干名	
機械工学・材料系学科（材料工学教育プログラム）	若干名	
化学・生命系学科（化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム）	若干名	
化学・生命系学科（バイオ教育プログラム）	若干名	
建築都市・環境系学科（建築教育プログラム）	若干名	若干名
建築都市・環境系学科（都市基盤教育プログラム）	若干名	
数物・電子情報系学科（数理学教育プログラム）	若干名	
数物・電子情報系学科（電子情報システム教育プログラム）	若干名	

【備考】建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザイン教育プログラム、地球生態学教育プログラム、数物・電子情報系学科物理工学教育プログラム、及び情報工学教育プログラムでは、編入学の募集を行いません。

2. 編入学の時期及び修学条件

- (1) 編入学の時期は平成 24 年 4 月とし、工学部編入者は 3 年次、理工学部編入者は 2 年次への編入とします。
- (2) 学士の学位を得るには、第 3 年次（工学部）編入の場合は 2 年以上、第 2 年次（理工学部）編入の場合は 3 年以上在学し、本学所定の授業科目及び単位数を修得する必要があります。なお、認定される単位数によっては、2 年間または 3 年間で卒業できない場合があります。修学条件について不明な点等がある場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

3. 出願と併願について

出願にあたっては、工学部（3 年次編入）又は理工学部（2 年次編入）を選択してください。出願できるのは 1 つの学部・学科・コース（又は教育プログラム）に限られ、併願はできません。出願について不明な点等がある場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

4. 工学部高等専門学校編入学【3 年次編入学】

(1) 出願資格

学校教育法第 115 条に定める高等専門学校を卒業した者及び平成 24 年 3 月卒業見込みの者

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、9. 出願にあたっての注意事項をよく読んで、本学所定の出願用封筒を使用して書留速達で郵送してください。（受付は郵送に限る）

(3) 出願期間

平成 23 年 7 月 1 日（金）から 7 月 7 日（木）まで必着

上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔7 月 7 日（木）〕を過ぎて到着した出願書類のうち、7 月 6 日（水）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(4) 出願書類

提出書類等	摘 要
志願票	本学所定用紙に必要事項を記入してください。
写真 2 枚	出願時前 3 か月以内に撮影した同一の写真（縦 4 cm × 横 3 cm）を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入して写真を貼付してください。
成績証明書	高等専門学校長が作成し 厳封したもの 。
卒業証明書又は卒業見込証明書	高等専門学校長が作成したもの。
推薦書	高等専門学校の指導教員が作成したもの（様式は特にありません）。
日本国政府国費外国人留学生であることを証明する書類	日本国政府国費外国人留学生のみ、出身学校所定の用紙により提出してください。

入学検定料	払込金額 30,000 円 払込方法の詳細については、「8 . 入学検定料」(12、13 ページ)を参照してください。 <u>日本国政府国費外国人留学生については、検定料は不要ですので提出する必要はありません。</u>
登録原票記載事項証明書	現在日本国に在住している外国人志願者は、市区町村の発行する「登録原票記載事項証明書」を提出してください。
返信用封筒	1 通 本学所定の返信用封筒に 360 円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。
住所・氏名記入用紙	2 枚 合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入してください。

(5) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、成績証明書及び推薦書を総合して行います。

試験教科・科目等

学科名(コース名)	基礎科目	専門科目	
生産工学科	数 学 物 理	材料力学、材料学または金属材料、熱力・水力学及び機械工作法から各 2 問、金属物理学から 1 問、計 9 問中から 4 問選択する。	面接試験
物質工学科(化学コース及び物質のシステムとデザインコース)	化 学	無機化学、有機化学、物理化学、分析化学	
建設学科(都市基盤コース)* ₁		「土木基礎数学(全 3 問)」から 2 問を選択し、さらに「構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学(各 2 問計 10 問)」のうち 4 問を選択する。	
電子情報工学科(電子情報システムコース)	数 学 物 理	電気磁気学、電気回路、電子工学、論理回路、プログラミング	
電子情報工学科(情報工学コース)	化 学	電気磁気学、電気回路、論理回路、プログラミング、アルゴリズム	

*₁ 建設学科(都市基盤コース)については基礎科目試験を行わない。

面接の内容

学科名(コース名)	面接の内容
生産工学科	もの作りや自然科学に関する興味と姿勢、健全な大学生活を送る上での意欲などを評価します。
物質工学科(化学コース及び物質のシステムとデザインコース)	もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科及び英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
建設学科(都市基盤コース)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。
電子情報工学科(電子情報システムコース及び情報工学コース)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。

(6) 試験日程

試験日時及び試験場

試験日	学科名(コース名)	試験時間及び試験科目		
		9:00~11:00	12:00~14:00	16:00~
平成23年8月22日(月)	生産工学科	基礎科目	専門科目	面接
	物質工学科(化学コース及び物質のシステムとデザインコース)			
	電子情報工学科(電子情報システムコース及び情報工学コース)			
		9:00~12:00	14:00~	
	建設学科(都市基盤コース)	専門科目	面接	
試験場	横浜国立大学工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)			

5. 理工学部高等専門学校編入学【2年次編入学】

(1) 出願資格

学校教育法第115条に定める高等専門学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、9.出願にあたっての注意事項をよく読んで、本学所定の出願用封筒を使用して書留速達で郵送してください。(受付は郵送に限る)

(3) 出願期間

平成23年7月1日(金)から7月7日(木)まで必着

上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔7月7日(木)〕を過ぎて到着した出願書類のうち、7月6日(水)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(4) 出願書類

提出書類等	摘要
志願票	本学所定用紙に必要事項を記入してください。
写真2枚	出願時前3か月以内に撮影した同一の写真(縦4cm×横3cm)を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入して写真を貼付してください。
成績証明書	高等専門学校長が作成し 厳封したもの 。
卒業証明書又は卒業見込証明書	高等専門学校長が作成したもの。
推薦書	高等専門学校の指導教員が作成したもの(様式は特にありません)。

日本国政府国費外国人留学生であることを証明する書類	日本国政府国費外国人留学生のみ、出身学校所定の用紙により提出してください。
入学検定料	払込金額 30,000 円 払込方法の詳細については、「8 . 入学検定料」(12、13 ページ)を参照してください。 <u>日本国政府国費外国人留学生については、検定料は不要ですので提出する必要はありません。</u>
登録原票記載事項証明書	現在日本国に在住している外国人志願者は、市区町村の発行する「登録原票記載事項証明書」を提出してください。
返信用封筒	1 通 本学所定の返信用封筒に 360 円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。
住所・氏名記入用紙	2 枚 合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入してください。

(5) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、成績証明書及び推薦書を総合して行います。

試験教科・科目等

学科名(教育プログラム名)	基礎科目	専門科目	面接試験
機械工学・材料系学科 (機械工学教育プログラム)	数 物 化 学 理 学	材料力学、材料学または金属材料、熱力・水力学及び機械工作法から各 2 問、金属物理学から 1 問、計 9 問中から 4 問選択する。 無機化学、有機化学、物理化学、分析化学	
機械工学・材料系学科 (材料工学教育プログラム)			
化学・生命系学科(化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム)			
化学・生命系学科 (バイオ教育プログラム)			
建築都市・環境系学科 (建築教育プログラム)* ₂	建築史、建築計画、建築構造、建築構造力学、建築生産、建築環境工学、建築設計製図 * ₃		
建築都市・環境系学科 (都市基盤教育プログラム)* ₂	「土木基礎数学(全 3 問)」から 2 問を選択し、さらに「構造工学、水工学、地盤工学、土木計画学、コンクリート工学(各 2 問計 10 問)」のうち 4 問を選択する。		
数物・電子情報系学科 (数理科学教育プログラム)* ₄	数 物 化 学 理 学	電気磁気学、電気回路、電子工学、論理回路、プログラミング	
数物・電子情報系学科 (電子情報システム教育プログラム)			

*₂ 建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)、建築都市・環境系学科(都市基盤教育プログラム)については基礎科目試験を行わない。

*₃ 建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)を志願する者は、自作であることを証明できる建築設計の作品 2 点を試験当日に持参してください。その作品をもって建築設計製図の試験に代えます。自作であることの証明は、学校の検印(図面に直接押印されたもの)、指導教員による証明書、コンペの応募控え(原本)等とします。

*₄ 数物・電子情報系学科(数理科学教育プログラム)については専門科目試験を行わない。

面接の内容

学科名(教育プログラム名)	面接の内容
機械工学・材料系学科(機械工学教育プログラム)	もの作りや自然科学に関する興味と姿勢、健全な大学生活を送る上での意欲などを評価します。
機械工学・材料系学科(材料工学教育プログラム)	もの作りや自然科学に関する興味と姿勢、健全な大学生活を送る上での意欲などを評価します。
化学・生命系学科(化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム)	もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科及び英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
化学・生命系学科(バイオ教育プログラム)	自然や生命現象に関する興味、数学・理科及び英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適正などを評価します。
建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)	志望動機と学問に対する姿勢、問題解決能力、自己表現能力などを評価します。
建築都市・環境系学科(都市基盤教育プログラム)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。
数物・電子情報系学科(数理科学教育プログラム)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数理科学の基礎知識、自己表現能力などを評価します。
数物・電子情報系学科(電子情報システム教育プログラム)	複数の面接員による個人面接を行い、志望動機と学問に対する姿勢、数学・物理の基礎知識、自己表現能力などを評価します。

(6) 試験日程

試験日時及び試験場

試験日	学科名(教育プログラム名)	試験時間及び試験科目		
		9:00~11:00	12:00~14:00	16:00~
平成23年8月22日(月)	機械工学・材料系学科(機械工学教育プログラム)	基礎科目	専門科目	面接
	機械工学・材料系学科(材料工学教育プログラム)			
	化学・生命系学科(化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム)			
	化学・生命系学科(バイオ教育プログラム)			
	建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)	専門科目		
	数物・電子情報系学科(数理科学教育プログラム)	基礎科目	面接	
	数物・電子情報系学科(電子情報システム教育プログラム)		専門科目	面接
			9:00~12:00	14:00~
	建築都市・環境系学科(都市基盤教育プログラム)	専門科目	面接	
試験場	横浜国立大学工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)			

6. 理工学部学士編入学（建築都市・環境系学科（建築教育プログラム）のみ実施）【2年次編入学】

(1) 出願資格

次のいずれかに該当する者。

大学を卒業し学士の学位を有する者及び平成24年3月までに卒業し学士の学位を授与される見込みの者。

独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者。

外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者。

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、9. 出願にあたっての注意事項をよく読んで、本学所定の出願用封筒を使用して書留速達で郵送してください。（受付は郵送に限る）

(3) 出願期間

平成23年7月1日（金）から7月7日（木）まで必着

上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔7月7日（木）〕を過ぎて到着した出願書類のうち、7月6日（水）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(4) 出願書類

提出書類等	摘 要	
志願票	本学所定用紙に必要事項を記入してください。	
写真2枚	出願時前3か月以内に撮影した同一の写真（縦4cm×横3cm）を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。	
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入して写真を貼付してください。	
成績証明書	学校長等が作成し 厳封したもの 。	
卒業証明書又は卒業見込証明書	該 当 者 の み 出身学校長が発行したもの。 (1) 出願資格 及び で出願する者のみ。	
学位授与証明書		独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、学士の学位を授与された者のみ。
学位授与申請受理証明書		独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、大学評価・学位授与機構に学位申請中の者のみ。
学位授与申請予定証明書		在籍学校長が発行したもの。 (1) 出願資格 で出願する者のうち、専攻科修了見込みの者のみ。
入学検定料	払込金額 30,000円 払込方法等の詳細については、「8. 入学検定料」(12、13ページ)を参照してください。	
登録原票記載事項証明書	現在日本国内に在住している外国人志願者は、市区町村の発行する「登録原票記載事項証明書」を提出してください。	
返信用封筒	1通 本学所定の返信用封筒に360円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。	
住所・氏名記入用紙	2枚 合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入してください。	

(5) 入学者選抜方法

試験教科・科目等

学科名(教育プログラム名)	基礎科目	面接試験
建築都市・環境系学科 (建築教育プログラム)	数学、物理、化学 または小論文 * ₅	

*₅ 小論文の内容：志望分野を中心とした一般的知識、論理的思考能力、表現力を評価します。

面接の内容

学科名(教育プログラム名)	面接の内容
建築都市・環境系学科 (建築教育プログラム)	志望動機と学問に対する姿勢、問題解決能力、自己表現能力などを評価します。

(6) 試験日程

試験日時及び試験場

試験日	学科名(教育プログラム名)	試験時間及び試験科目	
平成 23 年 8 月 22 日(月)	建築都市・環境系学科 (建築教育プログラム)	9:00 ~ 11:00	15:00 ~
		基礎科目または小論文	面接
試験場	横浜国立大学工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5)		

7. 合格者発表

平成 23 年 9 月 7 日(水) 13 時頃

本学ホームページ(<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話による可否の問い合わせには一切応じません。

ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね 4 日間程度とします。

8. 入学検定料

(1) 入学検定料の払込について

払込金額 30,000 円

払込期間 出願期間に間に合うように払込んでください。

払込場所 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口(ATMは使用不可)

払込方法

ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。(志願票の氏名と照合します。)

イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。

ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

(2) 日本国政府国費外国人留学生の入学検定料について

日本国政府国費外国人留学生については、入学検定料は不要です。但し、出願時に、出身学校所定の用紙により、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。

(3) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

入学検定料の返還請求ができるもの

ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学工学部・理工学部編入学試験に出願しなかった場合

イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合

返還する入学検定料の金額

志願者の申し出により、30,000 円を返還します。

返還請求の方法

上記のア.またはイ.に該当する場合は、理工学系大学院等入試係に連絡してください。連絡があった後に「検定料返還請求書」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。ウ.の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

9. 出願にあたっての注意事項

- (1) 「連絡先」は、大学からの通知が確実に届く宛先(日本国内に限る)を明記してください。なお、電話番号が呼出しの場合は「呼出」と明記してください。また、出願後「連絡先」及び「電話番号」を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して理工学系大学院等入試係に届け出てください。
- (2) 出願書類の記載事項に記入漏れやその他の不備がある場合は受理しません。
- (3) 出願書類等で厳封するよう指示があるものは、必ず発行機関にて厳封された状態で提出してください。厳封されていない場合には受理しません。
- (4) 出願後の書類内容の変更は認めません。
- (5) 出願書類は返却しません。
- (6) 出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (7) 平成 24 年 3 月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、合格を取り消します。
- (8) 出願書類を受理した者に対して、出願受付期間終了後「受験票」及び「受験上の注意」を郵送します。試験日の1週間前までに到着しない場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

10. 受験にあたっての注意事項

- (1) 高等専門学校編入学で理工学部建築都市・環境系学科(建築教育プログラム)を受験する者は、建築設計の作品2点を持参してください。
- (2) 受験者は、各選抜が指定する試験教科・科目等をすべて受験してください。1つでも受験していない者は、合格者とはなりません。

11. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送(書留速達)により入学手続期間に入学手続を行ってください。なお、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。入学手続の詳細は、入学手続書類で指示します。

- (1) 入学手続時に必要な入学料及び入学後に必要な授業料

入学料 282,000 円〔現行額〕

授業料 年額 535,800 円〔現行額〕

〔注1〕入学料及び授業料は改定される場合があります。

〔注2〕在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

〔注3〕詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

- (2) 入学手続に関する留意事項

入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

12. 既修得単位認定

入学手続以降、教務委員との面談等を通じ、出身学校において修得した単位の全部または一部を各学科（コース・教育プログラム）に設定された授業科目の履修とみなし、卒業要件の単位として認定します。

13. 障害等のある入学志願者の事前相談について

- (1) 本学に入学を志望する者のうち、障害〔下表参照〕等により、受験上あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、出願する前に事前に相談してください。相談の結果は決定次第、本人に連絡します。なお、下表から判断できない場合については、理工学系大学院等入試係までお尋ねください。
- (2) 出願受付終了後に、不慮の事故等のため、受験上あるいは修学上特別な配慮が必要な場合は、速やかに本人または代理人が医師の「診断書」等を添えて申請してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

- (3) 申請は、下表の様式例を参考に申請書を作成し、診断書又は身体障害者手帳（写）、その他の参考資料を添えて申請してください。なお、申請内容によっては対応に時間を要する場合がありますのでご了承ください。

(様式例) A4 判縦	平成 年 月 日
横浜国立大学長 殿	
	氏 名 (ふりがな)
	生年月日
	住 所 〒
	電話番号
横浜国立大学に入学したいので、下記のとおり事前に相談します。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 志望する学部・学科・コース・教育プログラム 2. 障害等の種類、程度 3. 受験に際して希望する特別措置 4. 入学後の修学に際して希望する措置 5. その他 	
(添付書類) 診断書又は身体障害者手帳（写）、その他参考資料	

14. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付）、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。

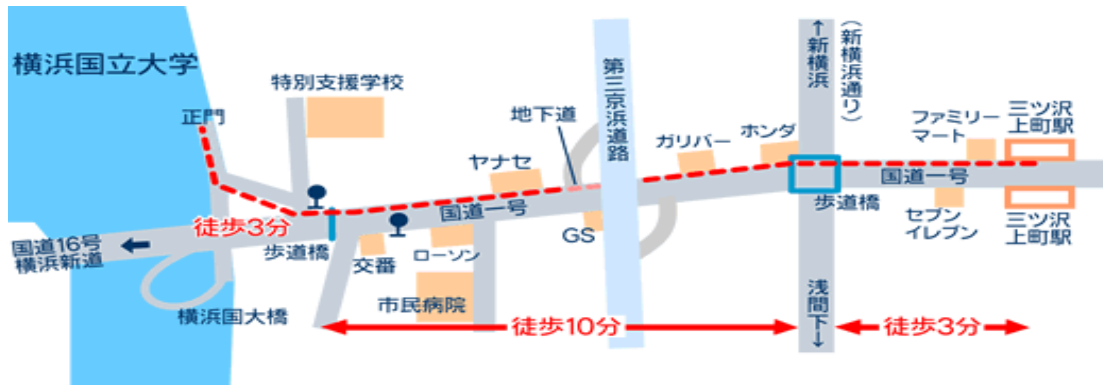
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

- (2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

交通案内図

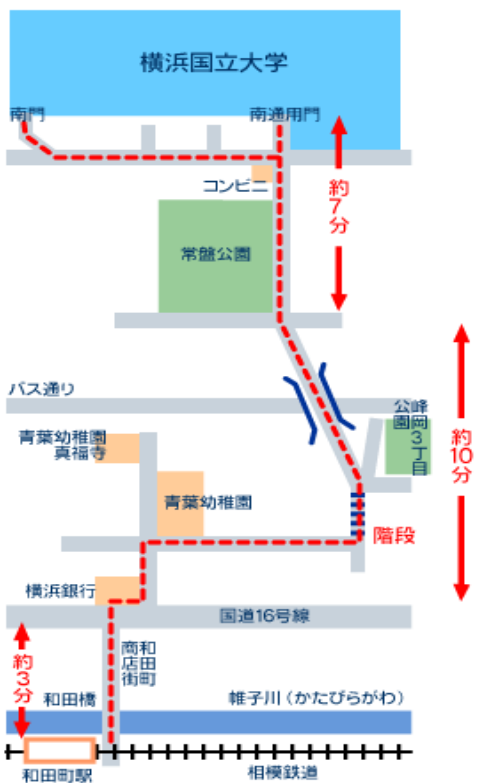
横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口) → 正門へ



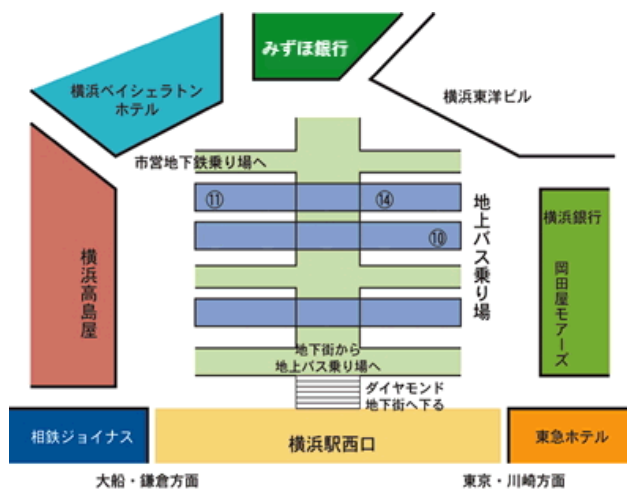
：相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



：バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所（平日のみ）



横浜市営バス	【下車停留所】
番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」 番乗口 【急行】329 系統「横浜駅西口行」 番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
相鉄バス 番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」 番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	「岡沢町」 又は 「国大北」(平日のみ) 「国大西」(平日のみ)
神奈中バス 番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。(平日のみ利用可能)

- 注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄または神奈中のホームページ等により各自で確認して下さい。
- 注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。
- 注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。
- 注 4 バスは、交通渋滞により遅れる可能性があるため、試験当日は 又は による徒歩をお勧めします。

<お問い合わせ先>

横浜国立大学工学系大学院等入試係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

〔窓口取扱時間〕 8:30～12:45, 13:45～17:00 (平日)

土日・休日及び年末年始(12/29～1/3)は休業です。

TEL : 045-339-3821,3822

FAX : 045-339-3820

E-mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に
原則として志願者本人が問い合わせてください。